

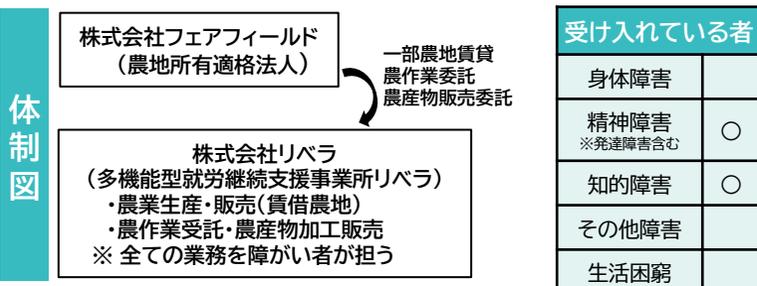
自然栽培農法による果樹や伝統野菜等の生産・加工・販売までを一貫して行い、すべての事業で障害者等が活躍。レストランを併設したワイナリーを開設し、年間10,000本のワイン・シードルを製造。



基本情報

設立: R2年 / 農福連携取組開始: R2年  
 取得認証等: 農山漁村振興交付金(農福連携対策)(R3、4年) 認定農業者(R8年)

**概要**  
**主力商品**  
 (農作物)りんご、ハスカップ、黒とうもろこし、ハーブ  
 (加工品)ワイン、シードル  
**特徴的な取組**  
 自然栽培、環境再生型農業、スマート農業、農学校運営 等



住所: 札幌市中央区北2条西9丁目4 インファス2階  
 TEL: 011-213-1525  
 Mail: yutoriolibera@gmail.com  
 URL: <https://shurosihen-b-libera.com/>

きっかけ

R2年

様々な困難を抱えた人々が自立に向けてのびのびと働くことができる職場づくりを目指し、障害者就労施設を運営する株式会社リベラを設立。

人を耕す

- 12.5haのほ場で多様な農業生産・加工・販売を通じて売上を拡大。
- 果樹・伝統野菜・希少なイタリア野菜等の生産・加工・販売まで自社で行っており、すべての事業において障害者等が従事。
- 適切な作業選択や研修などを通じた技術向上と働きやすい環境づくりに努めており、障害者の意欲と技術の向上により3年間で2名が一般就労に移行。

取組

地域を耕す

- 荒廃農地化しそうな畑や果樹園の作業を受託し、自然栽培農法による適切な管理を行い、生産性を回復させ、地域農業の維持に貢献。
- 在来種である黒トウモロコシの生産・販売を通じて、北海道の伝統野菜の維持に貢献。
- ワイナリーに併設したレストランで、自社産野菜を使用した料理やワインを提供し、6次産業化のモデルとして取組の普及と、交流人口の増加に寄与。

未来を耕す

- 無肥料・無農薬の自然栽培農法で野菜等を栽培。
- 令和6年に「LIBERA WINE TERRACE」を開設し、ワインとシードルの醸造を開始。
- ワインの購入代金の50%を障害者の工賃と環境整備に使用することを明示することで、障害者雇用や自然環境の改善など、地域や社会に貢献する仕組みづくりへ消費者の行動変容を促進。社会課題を解決することで事業が拡大していく構造をつくり取り組む。

成果

平均工賃時給	障害者数	売上高	農地面積
400円/時(R2) →436円/時(R6)	8人(R2) →21人(R6)	183万円(R2) →889万円(R6)	12.5ha(R2) →12.5ha(R6)

- 障害者等の工賃向上に努め、北海道の平均工賃を大幅に上回る450円/時間を実現。
- 自然栽培農法を学ぶ参加者が地元仁木町や隣町の余市町などに宿泊・滞在することで地域経済と都市農村交流、関係人口の増加に貢献。
- 施設利用者のうち、R6の農業従事者数は15人となっており、R2から年々増加。
- 農福連携を通じた生産性の向上により、R6はワイン9,000本、シードル1,000本を生産。

福祉と地域が連携し、希少な津軽漆の苗木生産から加工・販売まで一貫して行う取組により、障害者の就労、工賃向上、一般就労の機会創出とともに、持続可能な地域づくりと伝統文化の継承に寄与。



**基本情報**  
 設立:H25年 / 農福連携取組開始:R3年  
 取得認証等:農山漁村振興交付金(農福連携型)(R4~5年)

**概要**  
**主力商品**  
 (農産物)漆苗  
 (加工品)漆茶  
**特徴的な取組**  
 林福連携、ユニバーサル農園

**体制図**

- 生産指導:青森県地域中南農具局、株式会社小西美術工藝社、株式会社大昭造園、株式会社ミズミズ
- 植林:株式会社津軽バイオマスエナジー、津軽バイオチップ株式会社、株式会社タケエイ
- 漆茶生産:市民団体あじやらで遊ぶ、地方独立行政法人青森県産業技術センター弘前工業研究所
- アップサイクル事業:青森県経済産業部地域支援課経済力向上グループ、青森県新産業創造課、今漆器工房、建具工芸齋藤、K2
- 弘前大学人文社会科学部社会経営課程、弘前大学教育学部附属次世代ウェルビーイング研究センター、青森県立弘前工業高等学校建築科、青森県立五所川原農林高等学校森林科学科、青森県立柏木農業高等学校環境工学科
- 地域連携:市民団体津軽漆連、市民団体ReNeW津軽、CAS AICO、弘前鉄道株式会社、新ねぶた集団わらばんど、一般社団法人たかほろコミュニティベースト生活介護事業所はれはれ、社会福祉法人高城同志会幼保連携型認定こども園高城こども園

住所:青森県平川市中佐度南田18-20  
 TEL:0172-88-7656  
 Mail:kirin@kjb.biglobe.ne.jp  
 URL:https://kirinnosato.official.ec/

**受け入れている者**

身体障害	○
精神障害 ※発達障害含む	○
知的障害	○
その他障害	○
生活困窮	○
ひきこもり	○
高齢者	○
その他	○

きっかけ

R3年

荒廃農地や放置山林の増加により、国産漆の自給率低下と伝統工芸「津軽塗」の危機が深刻化する中で、農福連携を開始し、持続可能な地域づくりと伝統文化の継承に取り組む。

人を耕す

人

- 利用者別の評価シートを半年ごとに見直し、工賃向上につなげている。
- 苗育成、植林、営業、講師、接客、ものづくり班を設け、適性に応じた作業を選定。日替わりリーダーに外部対応や指導を任せ、責任感と自信を育成。リーダーの働きは、工賃に還元。
- 外部講師を招いての作業マニュアルの作成、治具を用いた作業難易度の調整、通所困難な難病者にも在室で作業参加できる仕組みの構築など安全で働きやすい職場環境を整備。

取組

地域を耕す

- 年間1,000本の漆苗を安定生産し、販路を確保。副産物を活かしたアップサイクル製品で高収益を実現し、津軽塗産業との協働で観光客や漆文化の関心のある層に訴求。
- 荒廃農地や伐採後の山林を林業会社や学生とともに整備し、漆林へと再生。短期間で収益化が可能な漆を用いた山づくりを提案し、農林資源の活用と地域課題の解決に貢献。

未来を耕す

未来

- 苗木生産から加工・販売までを一貫して行い、津軽塗とのコラボや外部講師の協力によって高付加価値な製品を創出。精神障害者にも良好な効果があり、定着率も向上。
- 取組内容はSNSやメディア、CMで積極的に発信し、全国から視察者が訪問。作業マニュアルや治具などの工夫は他団体にも応用可能。

平均工賃月額	作業に関わる障害者数	荒廃農林地の解消	農地(栽培)面積
11,286円(R3) →20,825円(R6)	3人(R3) →20人(R6)	0ha(R3) →1.5ha(R6)	1㎡(R3) →10㎡(R6) ※ポットトレイで漆苗を栽培

成果

- 植林作業での評価が自信につながり、就労移行支援や一般就労への移行を実現。ものづくり作業をきっかけにイラストレーターとして開業した者や、職業訓練校に進学した者も輩出。
- 桜まつりや社協まつり、地域フェスタ、津軽塗フェアなどのイベントへの出店や展示会、講師活動などを通じて地域との交流を深め、コミュニティの維持・活性化に貢献。
- 企業、学校、行政へと連携を広げ、多世代・多分野での協同を推進。漆を通じた出会いから市民団体設立に至るなど、地域活性化の新しいモデルを構築。

高齢者施設において、機能訓練を兼ねた夏野菜栽培や天日干し米づくり、稲わら飾りの制作・販売を通じて、高齢者が最期まで生きがいを持って働ける場を実現。

高齢者施設

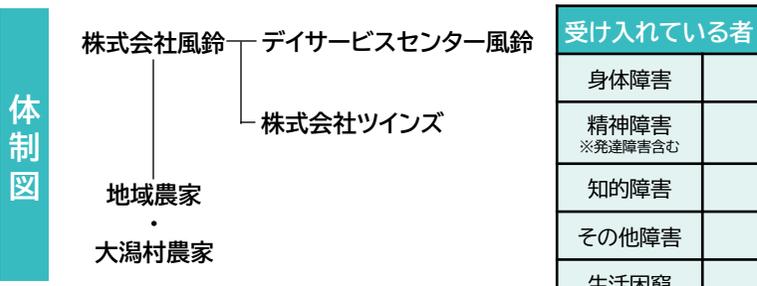
秋田県 東成瀬村



基本情報

設立:H20年 / 農福連携取組開始:H25年  
 主な選定表彰:秋田県東成瀬村品評会(H29、H30)玄米の部第1位、ディスカバー農山漁村の宝(第12回/東北)

概要  
**主力商品**  
 (農作物)米、トマト、リンドウ、山菜、夏野菜  
**特徴的な取組**  
 稲わら飾り(リース)製造、環境保全型農業、特別栽培農産物



住所:秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字長瀬51番  
 TEL:0182-47-3522  
 Mail:fengling51@navy.plala.or.jp  
 URL:http://higashinaruse.jp/

受け入れている者	
身体障害	
精神障害 <small>※発達障害含む</small>	
知的障害	
その他障害	
生活困窮	
ひきこもり	
高齢者	○
その他	

きっかけ

H25年

高齢者が「生き生きと暮らす」ためには、役割と働く場が不可欠であると実感。高齢者の多くが農業経験者であり、その力を活かすことができると考え、農作業を実施。

取組

人を耕す

- それぞれの能力に応じて、無理なく作業できるように道具を工夫したり、高さを調整したり、職員がサポートしたりすることによって、利用者が可能な作業を実施。
- 圃場に行く前に体温・血圧測定を徹底し、水分補給と作業時間の調整を行う安全管理体制を構築。
- 『同じ釜の飯を』を合い言葉に、農作業を通じて共に生きる喜びを実感できる場づくりを実施。

地域を耕す

- 荒廃農地30aを再生し、雑草に覆われていた棚田を維持管理。
- 地域農家のトマトやリンドウ栽培への参加により、農家側の労力が軽減するとともに、高齢者側の役割を創出。
- 大潟村農家との連携で稲わら飾り(リース)を製造。天日干しし収穫した天日干し米「冥土の土産」はふるさと納税返礼品に登録。

未来を耕す

- 令和6年から隣接の美郷町の高齢者施設でも取組を導入。
- 自然農法・天日干しの希少性を活かし、付加価値を向上。
- 手植え・手刈り・手干しといった昔ながらの技術の継承が進み、地域に伝統を残す人材育成の場にも寄与。

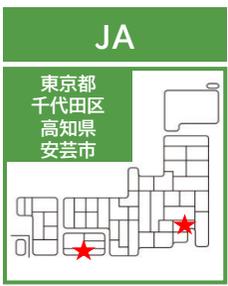
成果

平均介護度	夏野菜・山菜の販売額	米の販売額	稲わらリースの販売額
2.1(R2) →2.0(R6) <small>※利用者のうち要介護認定者の介護度を平均した値</small>	5万円(R2) →10万円(R6)	0円(R2) →7万円(R6)	0円(R2) →9.6万円(R6)

- 介護が必要になり、家に引きこもっていた80代女性が、当初断固拒否していたこの農を通じたデイサービスを受け入れ、『ここに来ることが唯一の楽しみだ』と1年後に発言。
- 介護職員と高齢者が目標を一つにすることで、他の施設ではあり得ないような会話が生まれており、施設内では一歩も歩かない高齢者が、農作業だと1人で歩こうとする等、利用者の生きがいづくり等に寄与。



大規模施設園芸における労働力確保のため、障害者就労施設と連携。周年栽培と作業のマニュアル化で誰でも働ける環境を構築し、安定労働と就業機会を拡大。



基本情報

設立:S47年 / 農福連携取組開始:R3年

取得認証等:ノウフクJAS(R7年)

概要

主力商品 (農作物)ナス

特徴的な取組 スマート農業 環境保全型農業

体制図



・ゆめファーム全農こうちで収穫した青果物の集荷、袋詰め、出荷等の農作業をこうち絆ファーム\*へ常時委託 \*就労継続支援B型事業所  
・その他の農作業も、発生の都度委託

住所:東京都千代田区大手町一丁目3番1号 JAビル  
TEL:03-6271-8269  
Mail:zz.zk.zennoh.horticulture@zennoh.or.jp  
URL:https://www.zennoh.or.jp/

受け入れている者	
身体障害	○
精神障害 ※発達障害含む	○
知的障害	○
その他障害	○
生活困窮	○
ひきこもり	○
高齢者	○
その他	○

きっかけ

R3年

JA全農が開発した大規模多収型施設園芸技術により、収量が2~4倍・栽培(出荷)期間が周年となったため、労働力の確保が課題となり、障害者就労施設への作業委託を開始

取組

人を耕す

- 作業委託料(単価)は障害者就労施設と協議し決定。作業技術向上に伴い、作業委託料も上昇する仕組みとするため1袋当たりで単価を設定。
- 作業のマニュアル化(書類・映像)等により適性を勘案した委託や作業中の適切な管理が可能。
- 単発の軽作業から圃場内作業や袋詰め、出荷と委託作業内容をステップアップし、障害者の能力向上に寄与。

地域を耕す

- 「ゆめファーム全農構想」を掲げ、雇用型農業とし、作業を分解・マニュアル化することで障害者に限らず多くの方が簡易に作業従事することが可能な大規模多収型施設園芸を推進。
- ゆめファーム全農こうちは全国的に視察を受け入れて、取組の紹介を行うことで、農福連携への理解を醸成。

未来を耕す

- ナスでは、簡便な作業で樹勢を維持しながら効率的かつ安定的な収穫が可能となる「ナスのつるおろし栽培法」を確立(特許第7623709号)したことで障害者就労施設への作業委託へ寄与。
- 環境調和型農業に資する技術・資材を体系化した「グリーンメニュー」にも取り組み、ノウフクJASを取得した商品に限らず、環境等に配慮した商品を展開。

成果

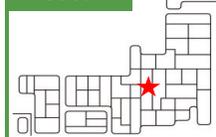
障害者就労施設への報酬支払額	農地面積	農業売上高	—
12万円(R3) →377万円(R6)	1ha(R3) →1ha(R6)	5,100万円(R3) →6,500万円(R6)	

- 障害者就労施設への年間支払総額 技術向上・委託作業の増加に伴い金額も上昇。
- 常時発生する集荷や袋詰め、JAへの出荷といった作業を全量福祉事業所へ委託することで圃場運営も効率化し生産に注力できることから収益性や生産性も向上。
- 各種センサーや環境制御機器によるスマート農業化もすすめ農福連携に限らず働きやすい環境を創出。

施設外就労として、養蚕の全工程及びいちごハウス内業務を委託。有効資源の活用と伝統産業の復興による地域活性化を図るとともに、雇用の創出や給与・工賃の向上に繋げる取組を実施。

農林水産業経営体

岐阜県  
下呂市



基本情報

設立:H7年 / 農福連携取組開始:R元年

きっかけ

R元年

数多くの作業工程があり人手が必要である養蚕事業とハウスでのいちご栽培において、施設外就労の受け入れを開始。

人を耕す

- 飼育期間や栽培時期が決まっており、利用者は安定した収入を得ることが可能に。
- 数多くの工程があり障害の度合い・就労能力によって作業内容を分担。
- 全工程に関わることで仕事の成果を目の当たりにでき、強い達成感を得ることが可能。
- 責任感をもって取り組めた実績が個人の自信に繋がり、作業にもプラスの影響を与えている。

地域を耕す

- 荒廃農地を開墾して桑園へと生まれ変わらせることで、自社で餌の飼育を可能にし、農地面積を増加させるなど、農地の継承と地域農業の維持に貢献。
- 養蚕経験のある高齢者の雇用を通じて、生きがいづくりにも寄与。
- 市内唯一のいちご狩りができる場所として地域の子ども会をいちご狩りに招待するなど、地域交流の場としても貢献。キッチンカーでのいちごを使ったスムージー販売も実施。

取組

未来を耕す

- 桑園では、利用者が選別した廃棄物を堆肥化し栽培に活用しており、資源のリサイクルを行いながら、伝統産業の復興に生かすとともに、雇用の創出を実現。
- 見学や体験を通じて、施設外就労先や雇用先の開拓に繋げ、利用者の将来への可能性拡大を図る。

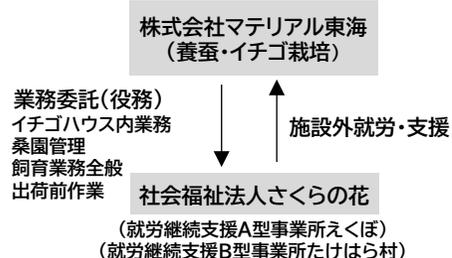
概要

主力商品

(農作物)いちご  
(畜産物)養蚕・繭として出荷

特徴的な取組  
環境保全型農業

体制図



受け入れている者

身体障害	○
精神障害 ※発達障害含む	○
知的障害	○
その他障害	
生活困窮	○
ひきこもり	
高齢者	○
その他	

成果

平均賃金月額	平均工賃月額	障害者数	農地面積
122,000円(R2) →130,000円(R6) ※ 農業以外も含む	60,000円(R2) →62,000円 (R6) ※ 農業以外も含む	15人(R2) →20人(R6)	1.7ha(R2) →2.2ha(R6)

- 県内で衰退していく養蚕において、R7春には約12万頭を飼育し、初年度から18倍に増加。県内トップの集荷量を達成。
- 作業中に利用者間で教え合い、助け合うといったコミュニケーション能力の更なる向上を確認。
- 施設で作業をする利用者の姿勢が認められ、他企業から施設外就労の依頼が増加。施設外就労先の開拓に寄与。

住所:岐阜県下呂市森1329番地3  
TEL:0576-23-3207  
Mail:h-material@m-tokai.co.jp  
URL:https://www.m-tokai.co.jp/